

時間(各報告  
25分、質疑応答  
含む)

11/17 横浜国立大学教文ホール  
14:00-17:00

	中集会室	小集会室
	セッション1	セッション2
14:00-14:25	井出明(金沢大学) 観光地における災害の発生とその対応について考える	花瀧馨也(北海道医療大学) 贈与と他者: コモロ諸島・ムフリ島におけるSHUNGUの政治学
14:25-14:50	小田理人(千葉大学) 沖縄県久米島の水環境について	Matakiviti, Kalina Manama(鹿児島大学) Groupers fishing activities and fishers perception on grouper management: Case study in Dravuni Village, Kadavu, Fiji.
14:50-15:15	小寺浩二(法政大学) 伊豆・三宅島の水環境に関する水文地理学的研究	坐間昇(上智大学) Social Acceptance of Renewable Energy Technologies - A Comparative Analysis of Two Remote Islands in the Maldives

休憩

	セッション3	セッション4
15:25-15:50	本谷佳保(名古屋大学) 全国の離島における高校通学可否の特定	河合溪(鹿児島大学) 太平洋島嶼国フィジーにおける沿岸域村落の資源利用の変容-2005年と2017年で比較して-
15:50-16:15	吉岡慎一((社)地域循環共生社会連携協会) 島嶼地域におけるカーボンニュートラルに係る取組について	鳥居享司(鹿児島大学) フィジー沿岸漁村の就業形態と家計構造・資源利用の変容
16:15-16:40	山下大輔・河又貴洋(長崎県立大学) 多層化する島嶼ネットワークと地域コミュニティ連携性～社会関係資本の継承・発展から島の持続可能性を考える～	高橋美野梨(北海学園大学) デンマーク国家共同体の統治のかたち

11/18 伊豆大島(大島町役場開発総合センター)

午前10:25-12:25

時間(横浜に同じ)	大集会室	大会議室
	セッション5	セッション6
10:25-10:50	合田正人(明治大学) 海と島々からの日本哲学史ー和辻哲郎『風土』『鎮国』を読む	大塚靖(鹿児島大学) ミクロネシア連邦ピス島での蚊媒介性感染症の対策について
10:50-11:15	對馬秀子(埼玉医科大短期大学) 古文書の保存と継承の取り組みー八丈島の高橋家史料を事例として	鈴木綾(八丈町地域おこし協力隊) 八丈島における再生可能エネルギーの活用とその課題
11:15-11:40	古坂良文(五島ひだまり法律事務所) 日本の島14,125はどの陸地を計数したのか	松村悠子(大阪大学) 長崎県対馬市および新潟県佐渡市におけるエネルギー事業者の政策利用についての一考察
11:40-12:15	長嶋俊介(鹿児島大学) 生命系文明initiativesとしての島未来可能性	小山茂(都立広尾病院) COVID-19と対峙した東京都の島しょ医療機関

昼食

午後13:25-15:05

	セッション7	セッション8
13:25-13:50	富川久美子(広島修道大学) 島嶼におけるオーバーツーリズムと観光政策	高橋優太(兵庫教育大学) 關谷武司(関西学院大学) 吉田夏帆(兵庫教育大学) 島嶼は日本の縮図たるか?ー戦後以降現在にかけての家島群島における人口・学歴・産業の変遷に着目した一考察
13:50-14:15	金徳謙(広島修道大学) 有人離島におけるサステナビリティと観光	錢夢卿(横浜国立大学) U/Iターン移住者が伊豆大島に与える影響についてー移住者インタビュー調査の結果から
14:15-14:40	關谷武司(関西学院大学) 坂本萌歌(関西学院大学) 江崎那留穂(愛知淑徳大学) 島嶼は日本の縮図たるか?ー離島および日本における食料の対外依存状況に着目した一考察	城本高輝(長崎国際大学) 五島・吉岐の海洋資源を活用した関係人口創出についての研究
14:40-15:05	岩谷暢子(海上保安大学校海上保安国際研究センター・神戸学院大学) 島嶼国が提起する国際法秩序への問い	